

第3章

在宅介護実態調査結果

資料 3-3

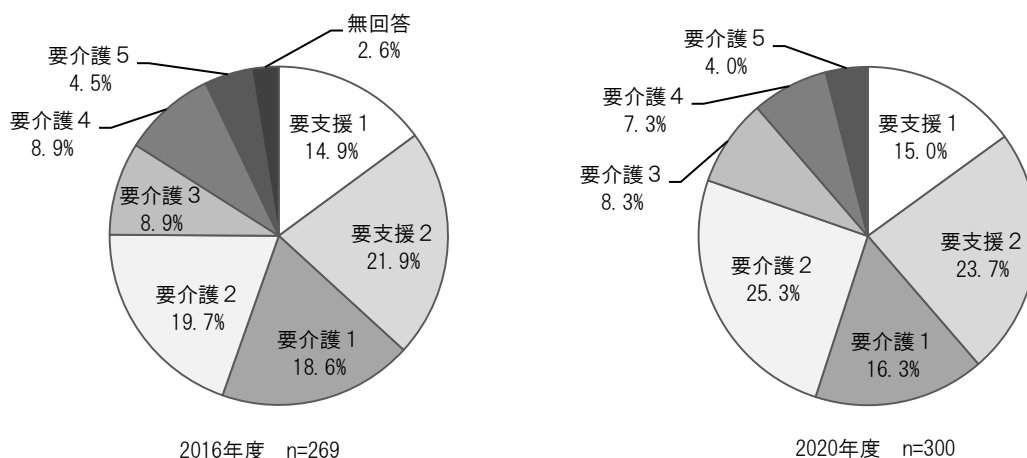
第3章 在宅介護実態調査結果

1 ご本人（要介護者）の状況について

(1) 要介護者の要介護度

○要介護者の介護度をみると、「要介護2」（25.3%）が最も高く、次いで「要支援2」（23.7%）、「要介護1」（16.3%）、「要支援1」（15.0%）となっています。

要介護者の介護度別構成比

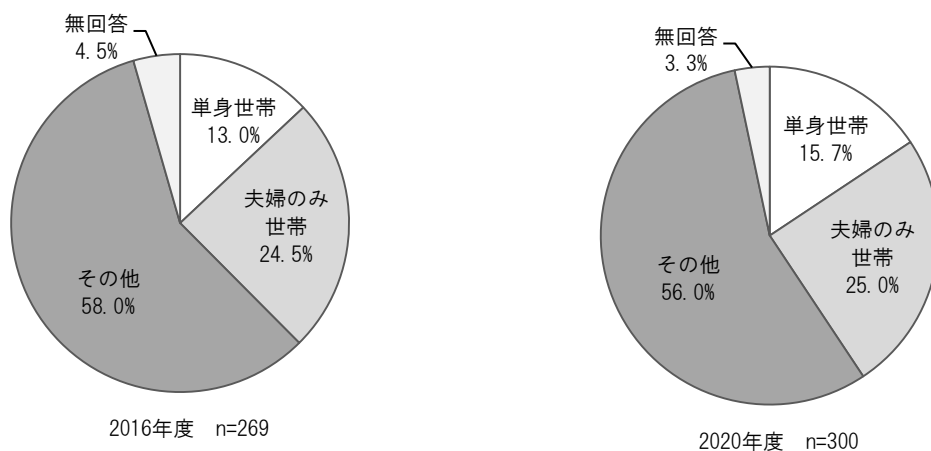


(2) 要介護者の世帯状況

○世帯類型をみると、「夫婦のみ世帯」は25.0%、「単身世帯」は15.7%となっており、「その他」の世帯は56.0%と最も高くなっています。

○前回調査と比較すると、「単身世帯」は2.7ポイント高くなっています。

問2 世帯類型

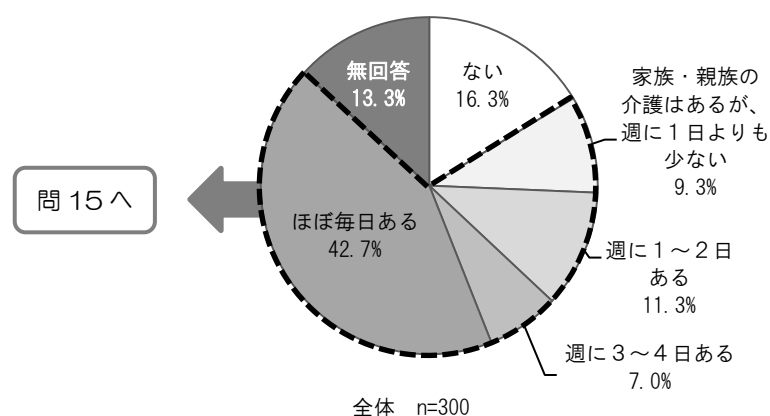


(3) 家族・親族から介護してもらう頻度

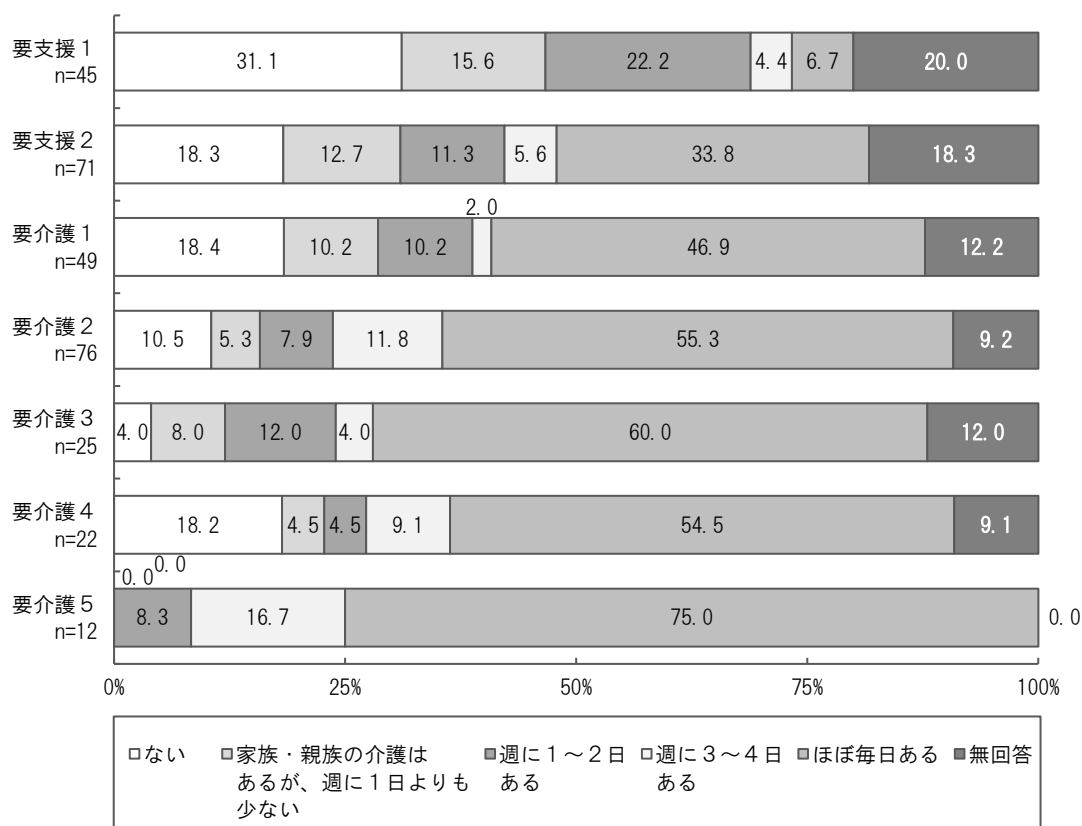
○家族・親族による介護の頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(42.7%)が最も高く、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」と合わせると70.3%の方が家族・親族による介護を受けている状況です。

○また、介護度別にみると、要支援2・要介護1～5では「ほぼ毎日ある」(33.8～75.0%)、要支援1では「ない」(31.1%)が最も高くなっています。

問 13 家族・親族から介護してもらう頻度

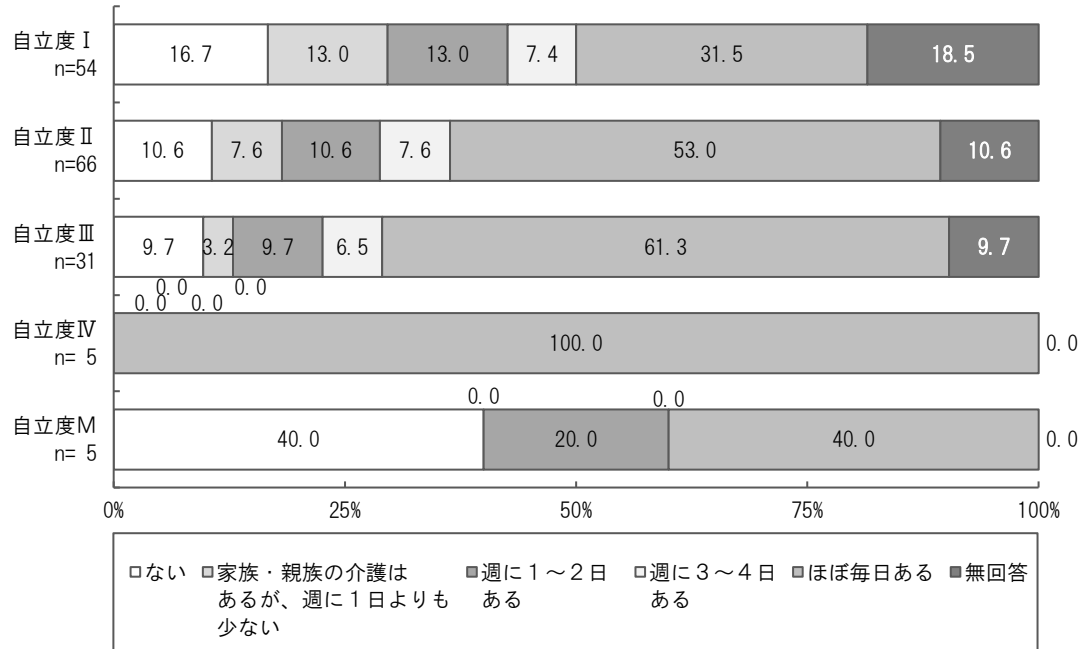


「介護度」×「問 13 家族・親族から介護してもらう頻度」



○認知症高齢者日常生活自立度別にみた家族・親族から介護してもらう頻度をみると、自立度Ⅰ～Ⅳで「ほぼ毎日ある」(31.5～100.0%)が最も高くなっています。次いで自立度Ⅰでは「ない」(16.7%)、自立度Ⅱ・Ⅲでは「ない」、「週に1～2日ある」(各10.6%・各9.7%)となっています。

「認知症高齢者日常生活自立度」×「問13 家族・親族から介護してもらう頻度」

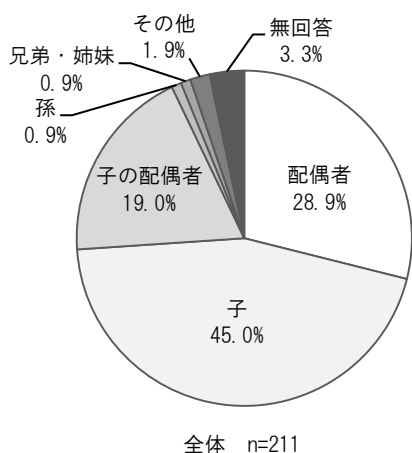


2 主な介護者等の状況（属性等）について

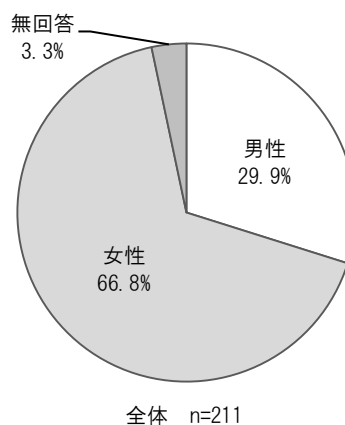
(1) 主な介護者の状況

- 要介護者からみた主な介護者は、「子」(45.0%)が最も高く、次いで「配偶者」(28.9%)、「子の配偶者」(19.0%)となっています。
- 主な介護者の性別は、「女性」(66.8%)が高く、「男性」(29.9%)とは約2：1の割合となっています。
- 主な介護者の年齢は、「60～69歳」(29.4%)が最も高く、次いで「50～59歳」(25.6%)、「70～79歳」(20.4%)、「80歳以上」(14.2%)となっています。

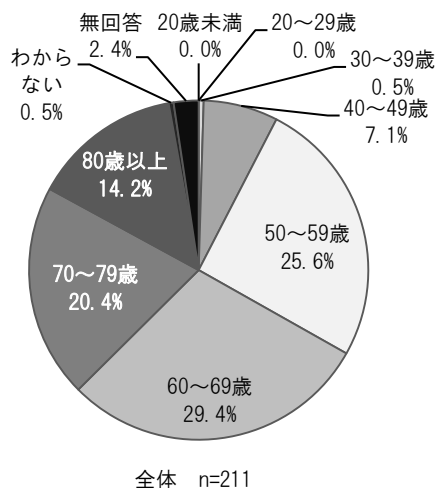
問 15 要介護者からみた主な介護者



問 16 主な介護者の性別



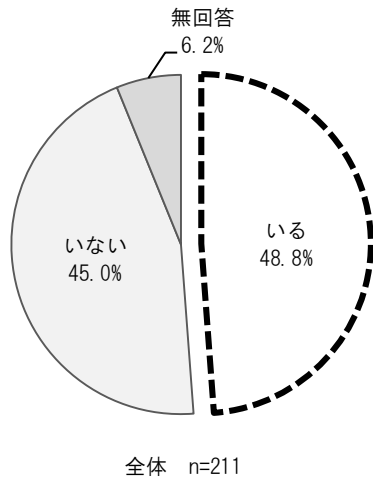
問 17 主な介護者の年齢



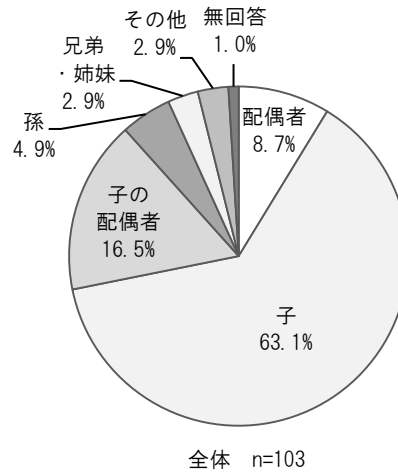
○主な介護者の代わりとなる介護者の有無をみると、「いる」が48.8%、「いない」が45.0%となっています。

○代わりとなる介護者の続柄をみると、「子」(63.1%)が最も高く、次いで「子の配偶者」(16.5%)、「配偶者」(8.7%)となっています。

問 18 主な介護者の代わりとなる介護者の有無



問 18-1 代わりとなる介護者の続柄

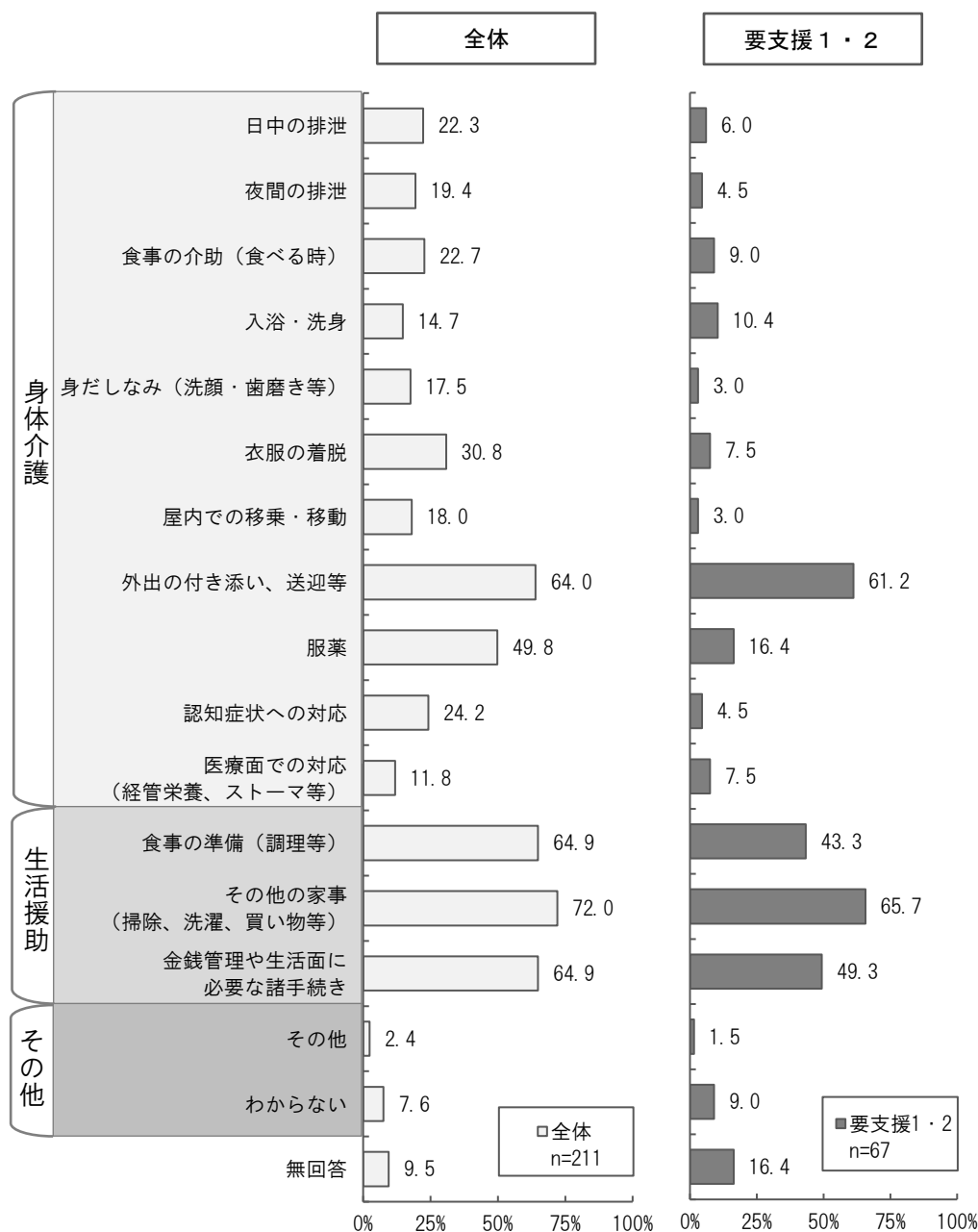


(2) 主な介護者の介護実態

○全体の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(64.0%)、「服薬」(49.8%)が高くなっています。生活援助では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(72.0%)、「食事の準備(調理等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(各64.9%)が高くなっています。

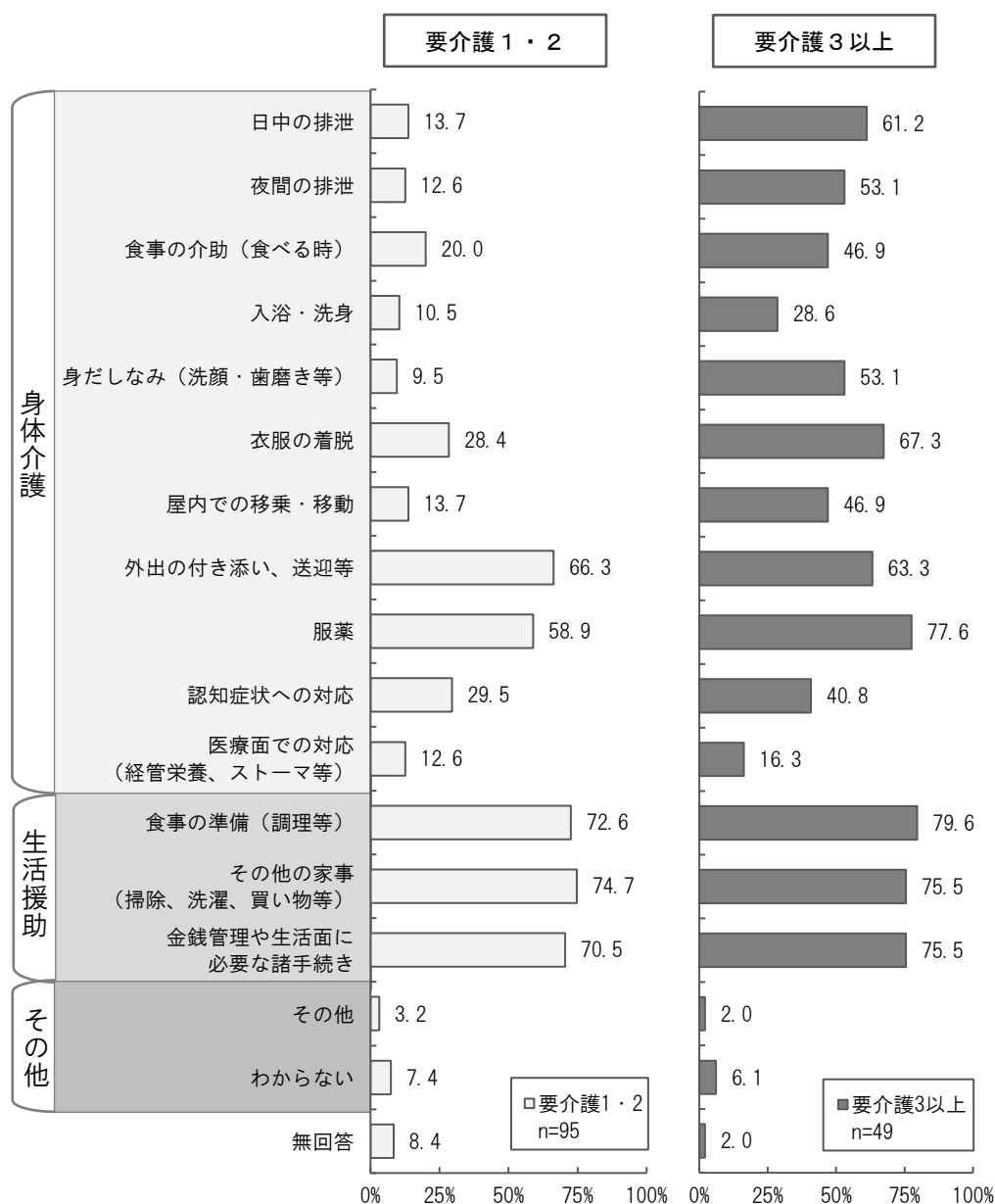
○要支援1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(61.2%)が高くなっています。生活援助では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(65.7%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(49.3%)、「食事の準備(調理等)」(43.3%)が高くなっています。

問 20 主な介護者が行っている介護等



○要介護1・2の方の身体介護をみると、「外出の付き添い、送迎等」(66.3%)、「服薬」(58.9%)が高くなっています。生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(74.7%)、「食事の準備(調理等)」(72.6%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(70.5%)が高くなっています。

○要介護3以上の方の身体介護をみると、「服薬」(77.6%)、「衣服の着脱」(67.3%)、「外出の付き添い、送迎等」(63.3%)、「日中の排泄」(61.2%)、「夜間の排泄」、「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」(各53.1%)が高くなっています。生活援助では、「食事の準備(調理等)」(79.6%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(各75.5%)が高くなっています。



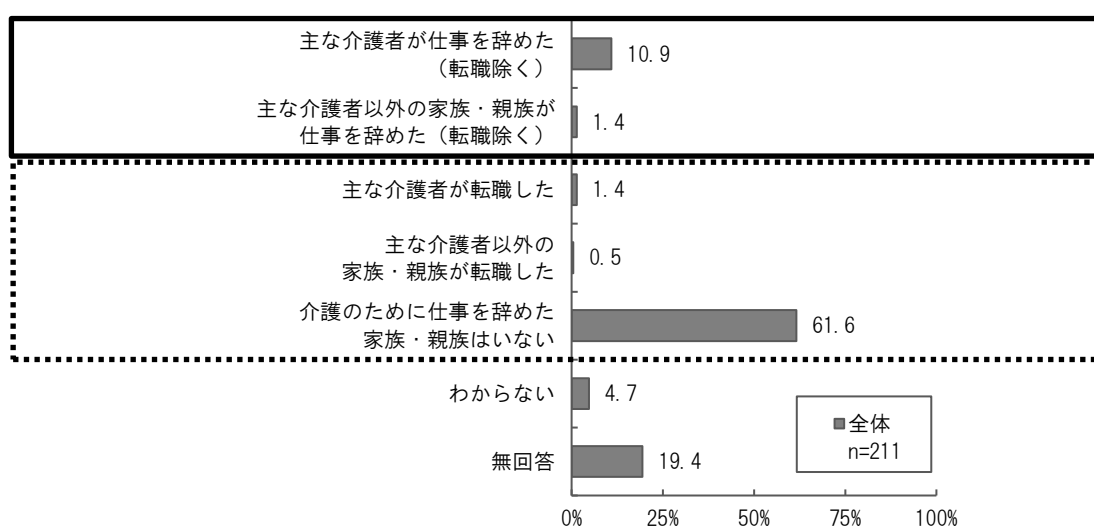
(3) 家族・親族が介護のために離職した状況

○家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況をみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」(10.9%)、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」(1.4%)が離職し、また1.9%の方が転職しています。

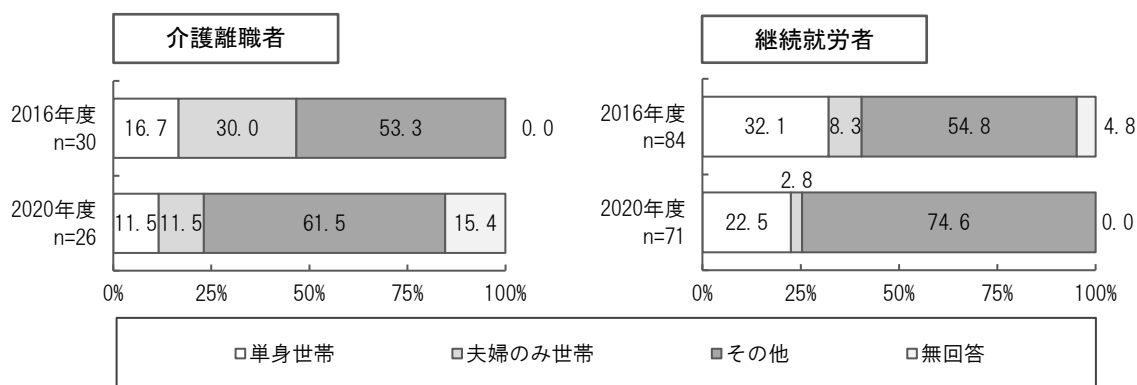
○世帯類型では、介護離職者と継続就労者とも「その他」の世帯(61.5%・74.6%)、次いで介護離職者は「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」(各11.5%)、継続就労者は「単身世帯」(22.5%)の順となっています。

○前回調査と比較すると、介護離職者では「夫婦のみ世帯」18.5^{ポイント}、継続就労者では「単身世帯」が9.6^{ポイント}低くなっています。

問 14 家族・親族の介護による退職・転職状況



「介護離職者・継続就労者別」 × 「問 2 世帯類型」

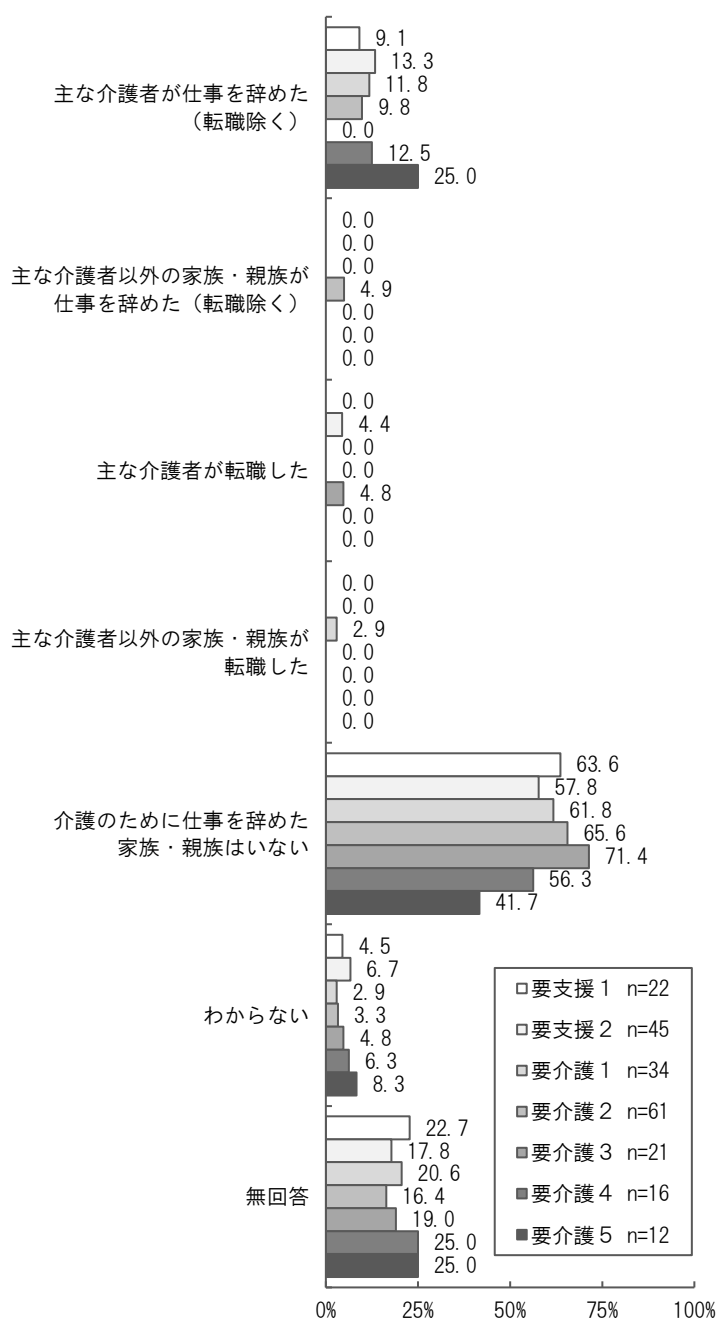


※介護離職者：問14で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。
 ※継続就労者：①問14で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、
 ②問14で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、
 問23で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

○介護度別に家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況を見ると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」と回答した方は要支援1で9.1%、要支援2で13.3%、要介護1で11.8%、要介護2で9.8%、要介護4で12.5%、要介護5で25.0%となっています。

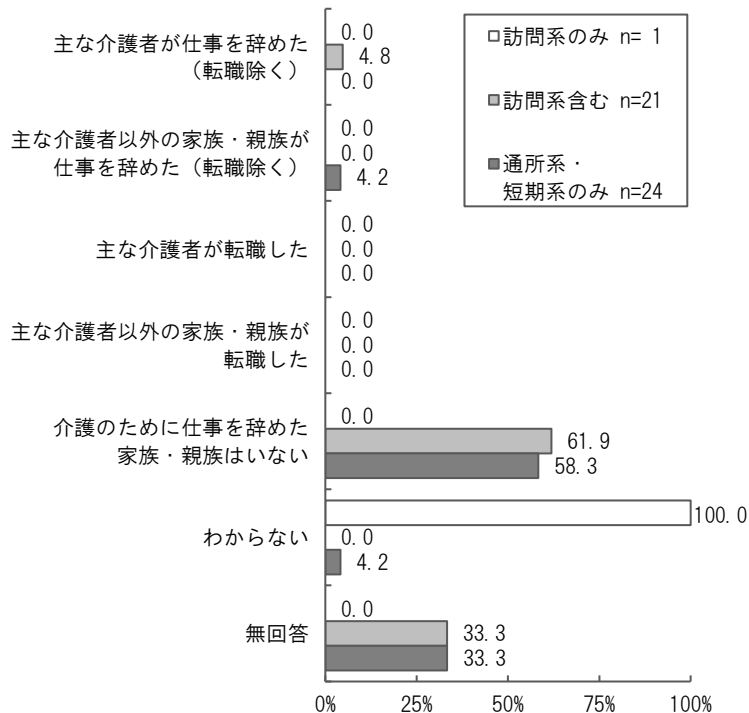
○また、「主な介護者が転職した」と回答した方は要支援2で4.4%、要介護3で4.8%となっています。

「介護度」×「問14 家族・親族の介護による退職・転職状況」



○サービス利用状況別にみた家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況を見ると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」方の訪問系を含むサービス利用状況が61.9%、通所系・短期系のみが58.3%と最も高くなっています。

「サービス利用状況」×「問 14 家族・親族の介護による退職・転職状況」



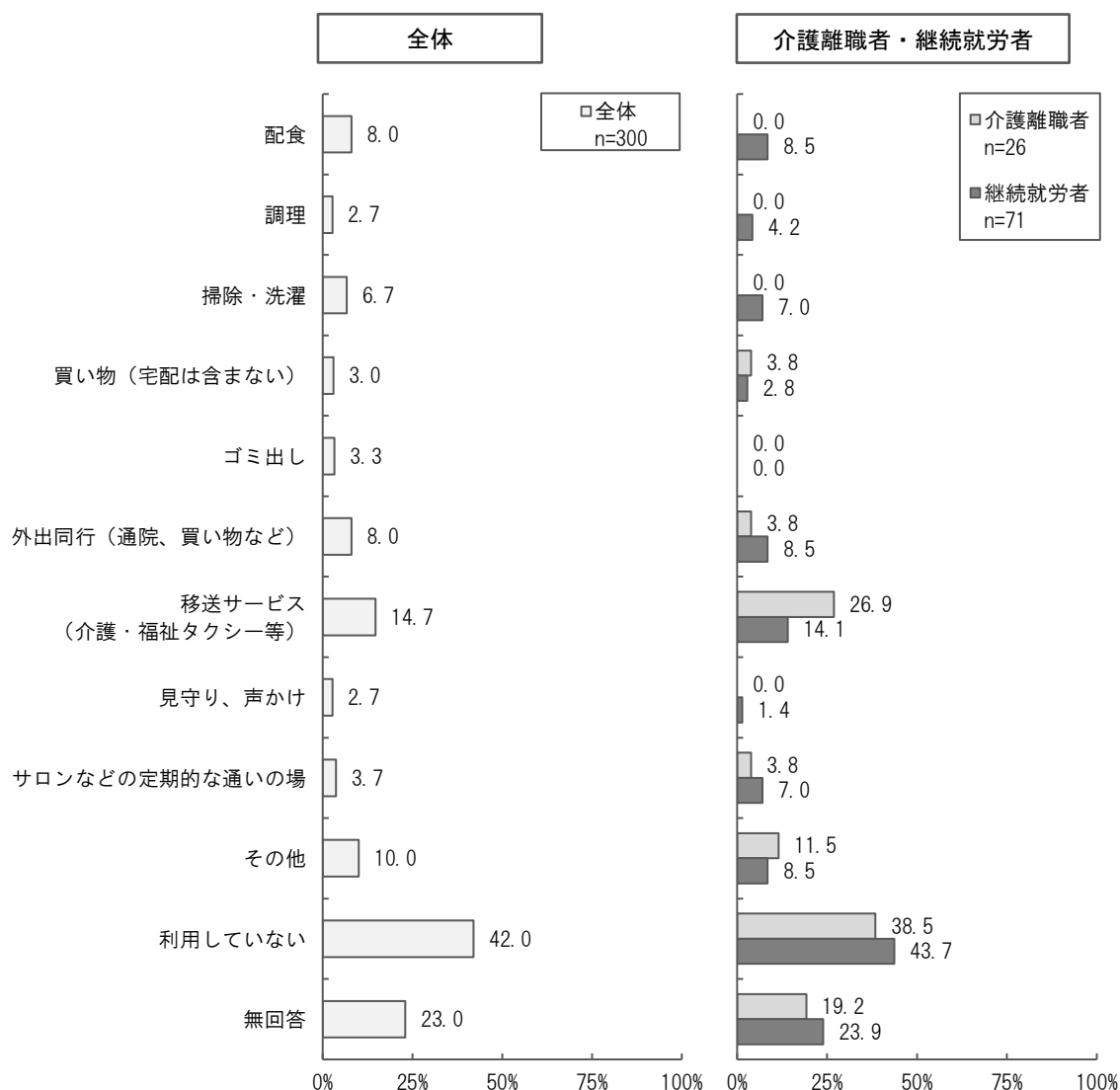
3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

(1) 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス

○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、全体では「利用していない」(42.0%)が最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(14.7%)、「配食」、「外出同行(通院、買い物など)」(各8.0%)となっています。

○介護離職者と継続就労者ともに「利用していない」(38.5%・43.7%)が最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(26.9%・14.1%)となっています。

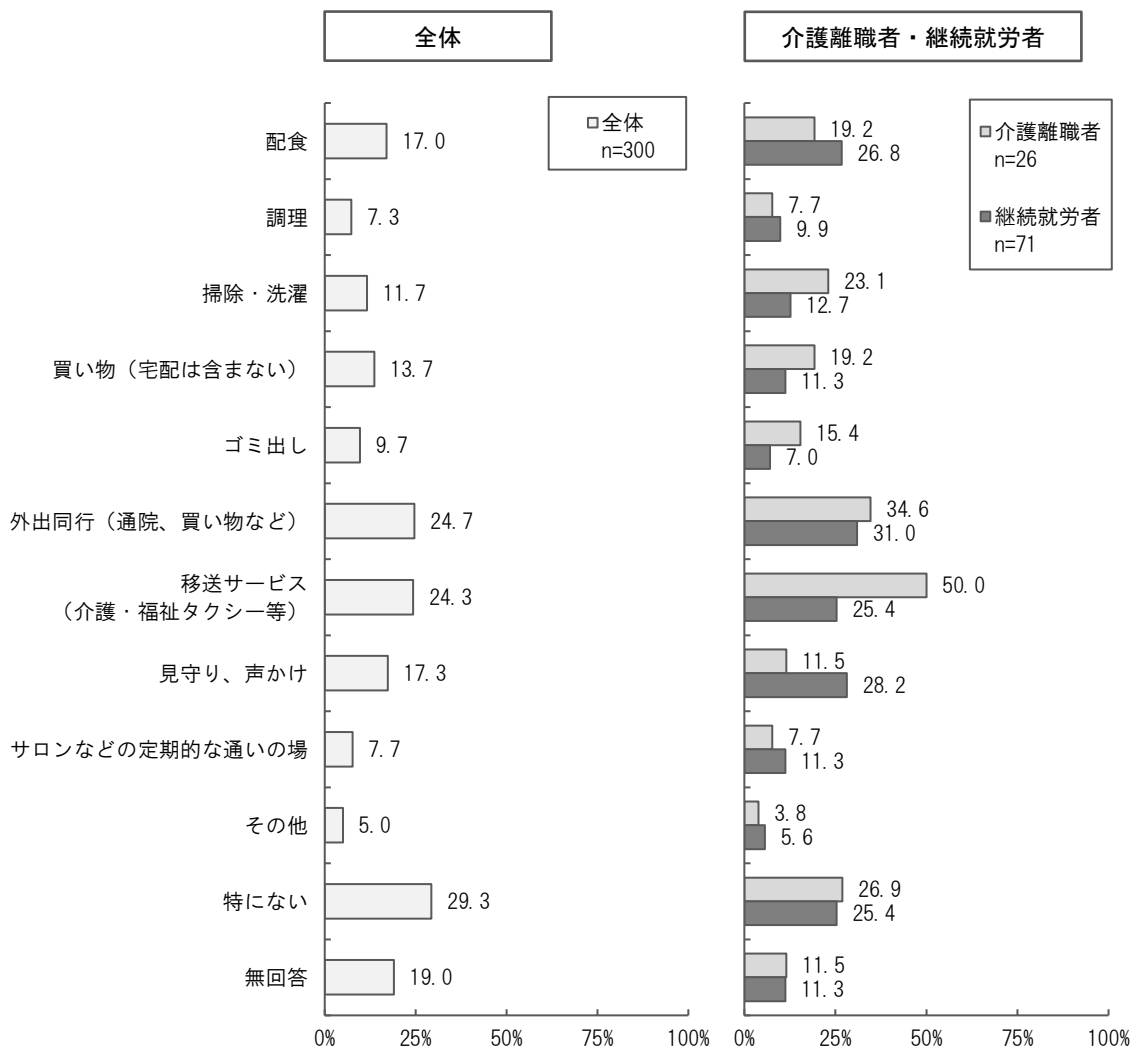
問7 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況



○在宅生活を継続するために必要な支援・サービスをみると、全体では「特にない」(29.3%)が最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」(24.7%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(24.3%)となっています。

○介護離職者では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(50.0%)が最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」(34.6%)となっています。継続就労者では「外出同行(通院、買い物など)」(31.0%)が最も高く、次いで「配食」(26.8%)となっています。

問 8 在宅生活を継続するために必要な支援・サービス

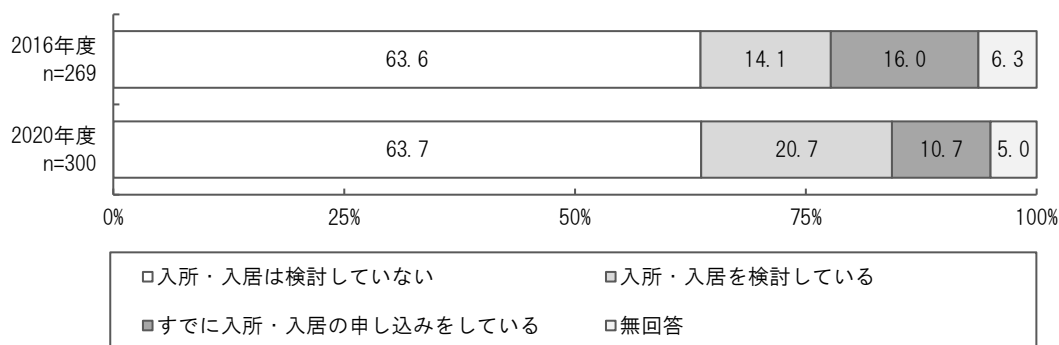


○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、全体では「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた31.4%が、入所・入居予定または検討中となっています。

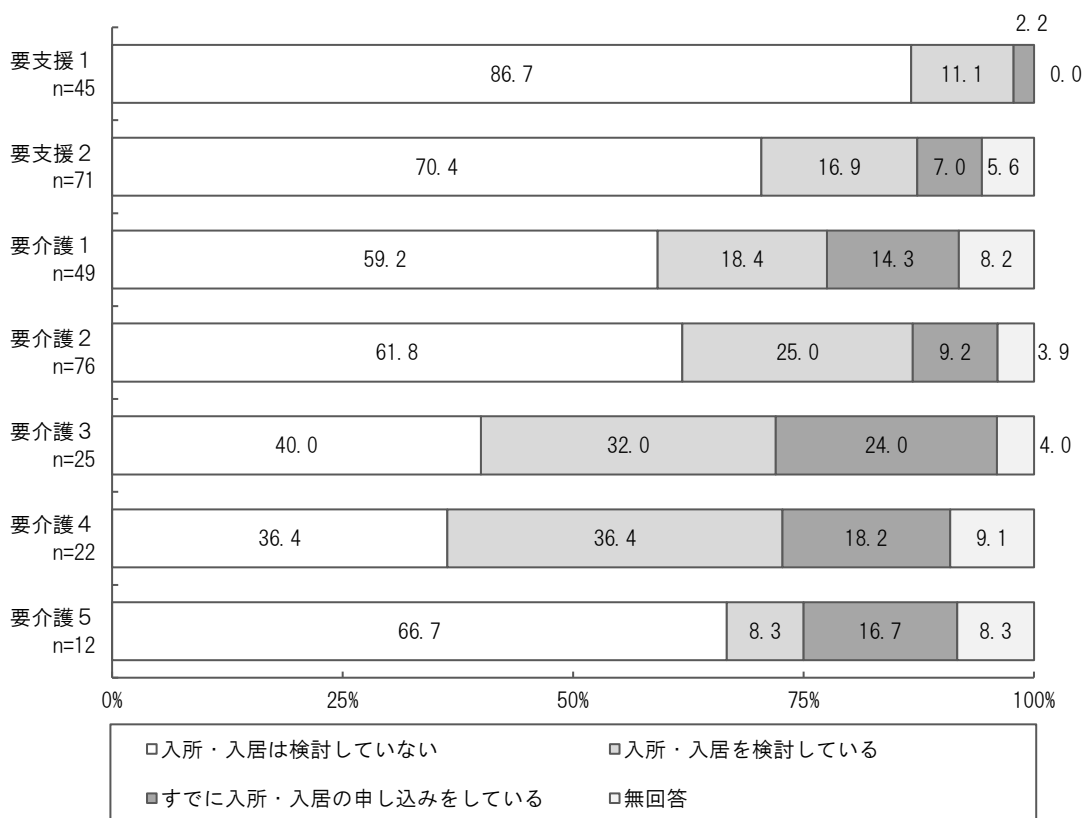
○前回調査と比較すると、入所・入居予定または検討中の方は1.3^{ポイント}高くなっています。

○介護度別の検討状況では、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた入所・入居予定または検討中の方は、要支援1では13.3%、要支援2では23.9%、要介護1では32.7%、要介護2では34.2%、要介護3では56.0%、要介護4では54.6%、要介護5では25.0%と介護度が上がるにつれて割合が高くなる傾向です。

問3 施設等への入所・入居に関する検討状況



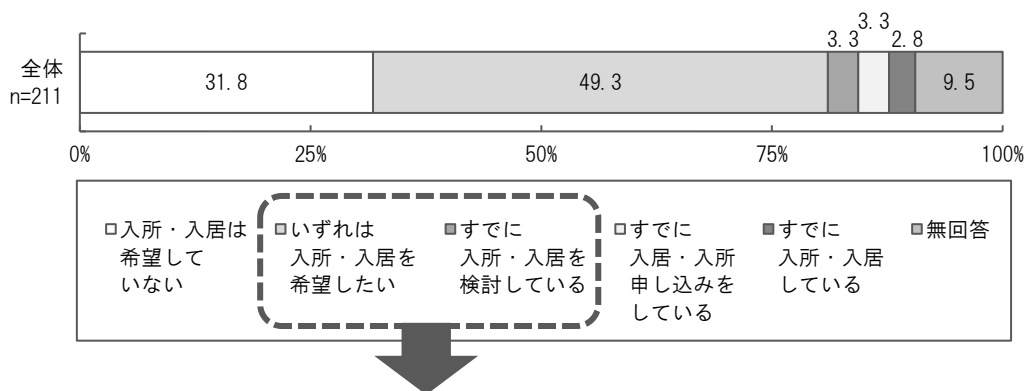
「要介護度」×「問3 施設等への入所・入居に関する検討状況」



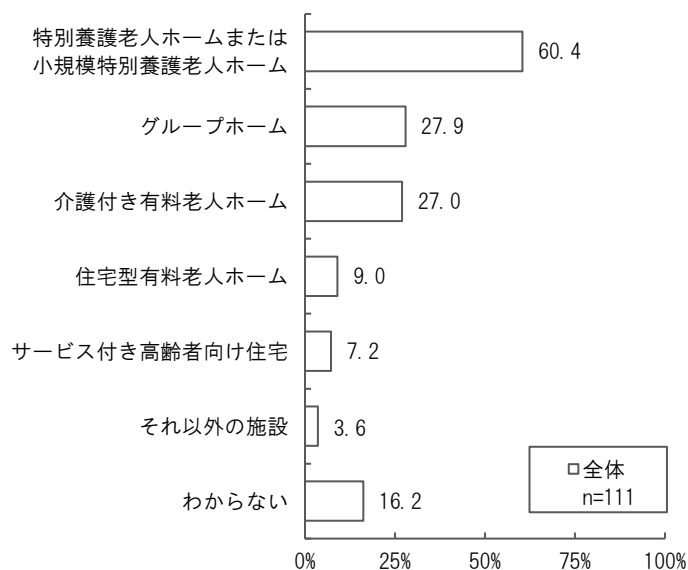
○主な介護者の施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、全体では「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた6.6%が、入所・入居予定または検討中となっています。

○入居・入所を希望したい、または検討している施設の種類をみると、「特別養護老人ホームまたは小規模特別養護老人ホーム」(60.4%)が最も高く、次いで「グループホーム」(27.9%)、「介護付き有料老人ホーム」(27.0%)となっています。

問 22 主な介護者の施設等への入所・入居に関する検討状況



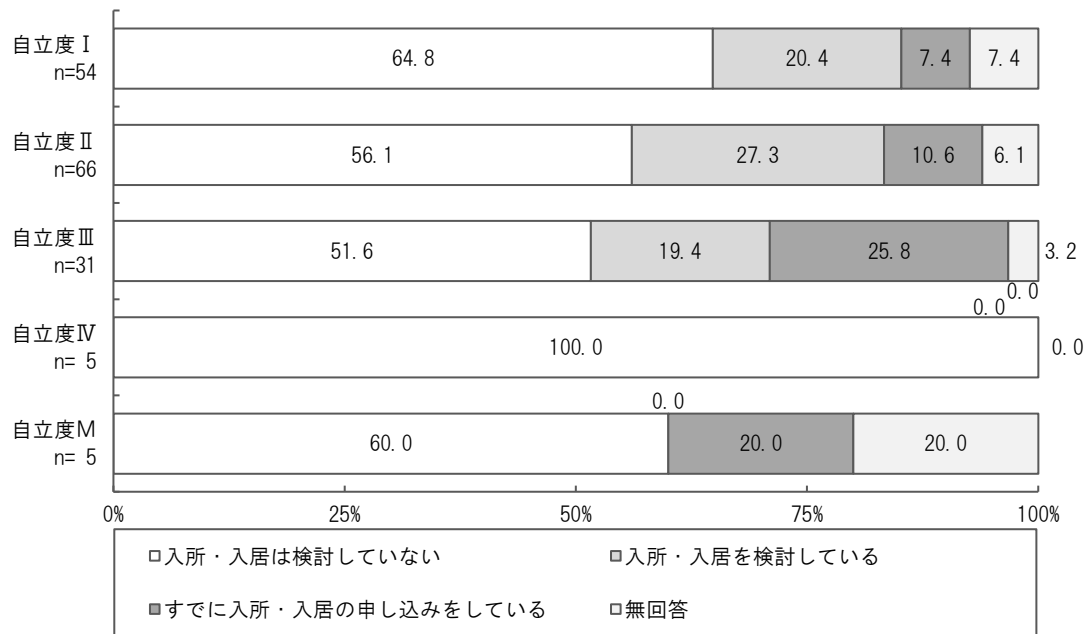
問 22-1 入居・入所を希望したい、または検討している施設の種類



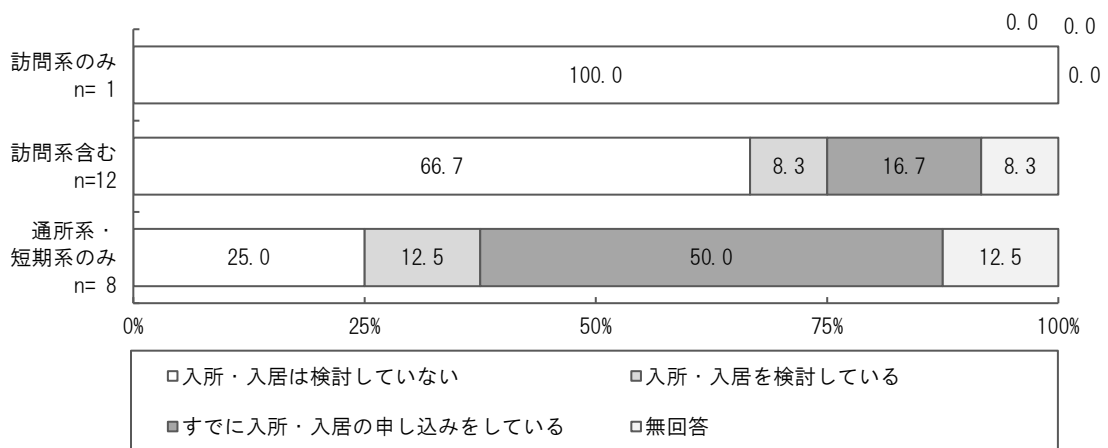
○認知症高齢者日常生活自立度別でみると、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた入所・入居予定または検討中の方は、自立度Ⅰで27.8%、自立度Ⅱで37.9%、自立度Ⅲで45.2%となっています。

○サービス利用別でみると、入所・入居予定または検討中の方は、訪問系含むサービス利用の方で25.0%、通所系・短期系の方で62.5%となっています。

「認知症高齢者日常生活自立度」×「問3 施設等への入所・入居に関する検討状況」



「サービス利用状況」×「問3 施設等への入所・入居に関する検討状況」(要介護度3以上)

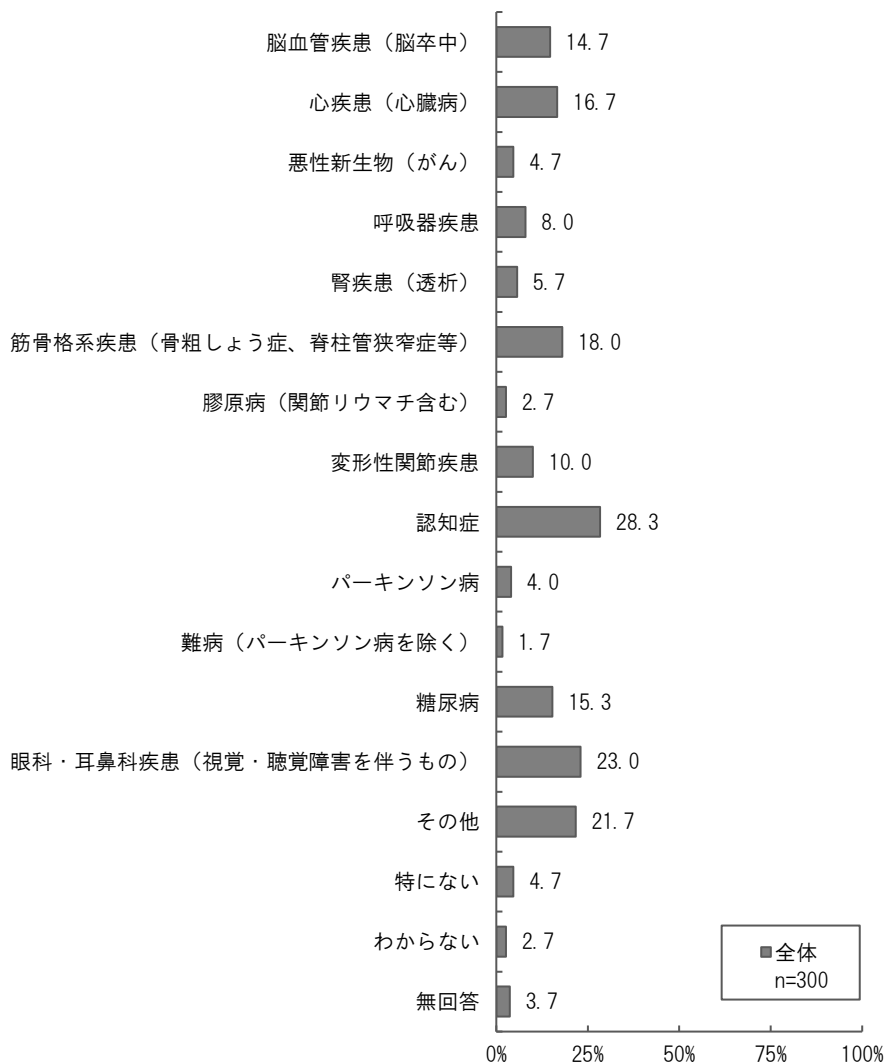


(2) 訪問診療の利用状況

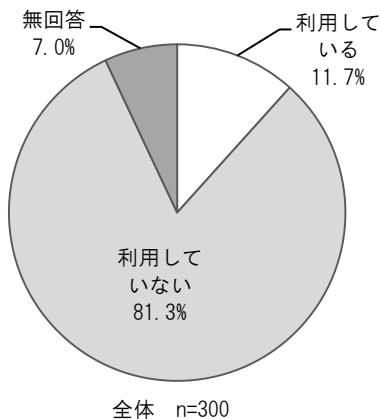
○要介護者が現在抱えている傷病名をみると、「認知症」(28.3%)が最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」(23.0%)、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」(18.0%)、「心疾患(心臓病)」(16.7%)となっています。

○訪問診療の利用状況をみると、「利用している」方は11.7%となっています。

問4 要介護者が現在抱えている傷病名



問5 訪問診療の利用の有無

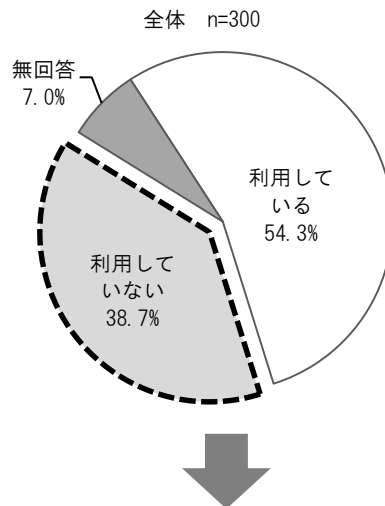


(3) 介護保険サービスの利用状況

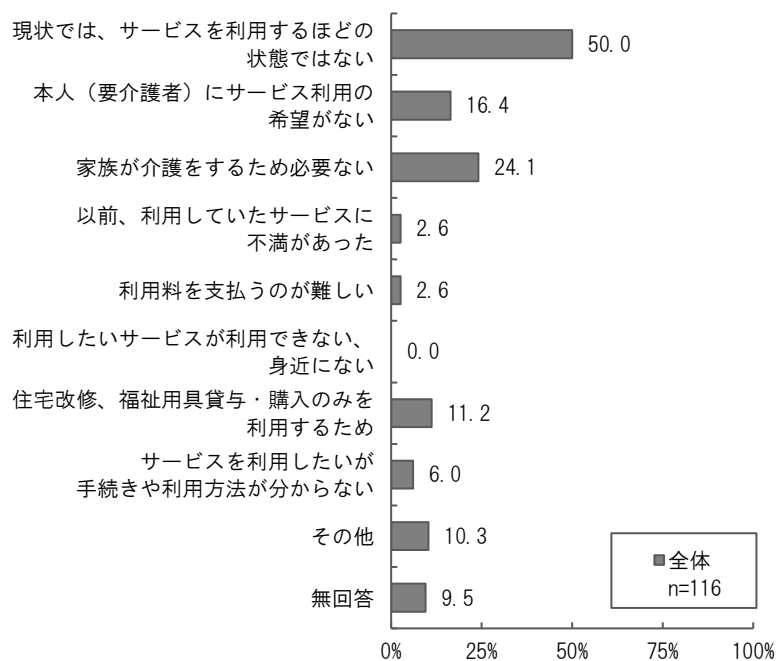
○介護保険サービスの利用状況を見ると、「利用している」は54.3%、「利用していない」は38.7%となっています。

○介護保険サービスを利用していない理由として、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(50.0%)が最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(24.1%)となっています。

問 6 介護保険サービスの利用状況



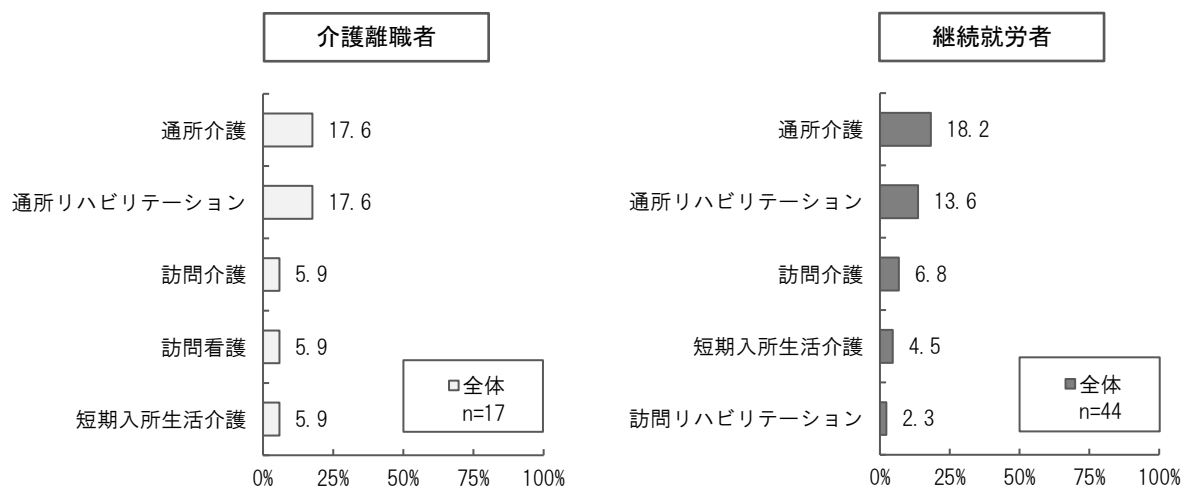
問 6-1 介護保険サービスを利用していない理由



○介護離職者の介護保険サービス利用では「通所介護」、「通所リハビリテーション」（各17.6%）、「訪問介護」、「訪問看護」、「短期入所生活介護」（各5.9%）の順となっています。

○継続就労者では「通所介護」（18.2%）、「通所リハビリテーション」（13.6%）、「訪問介護」（6.8%）、「短期入所生活介護」（4.5%）、「訪問リハビリテーション」（2.3%）の順となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「サービス利用状況（上位5位）」



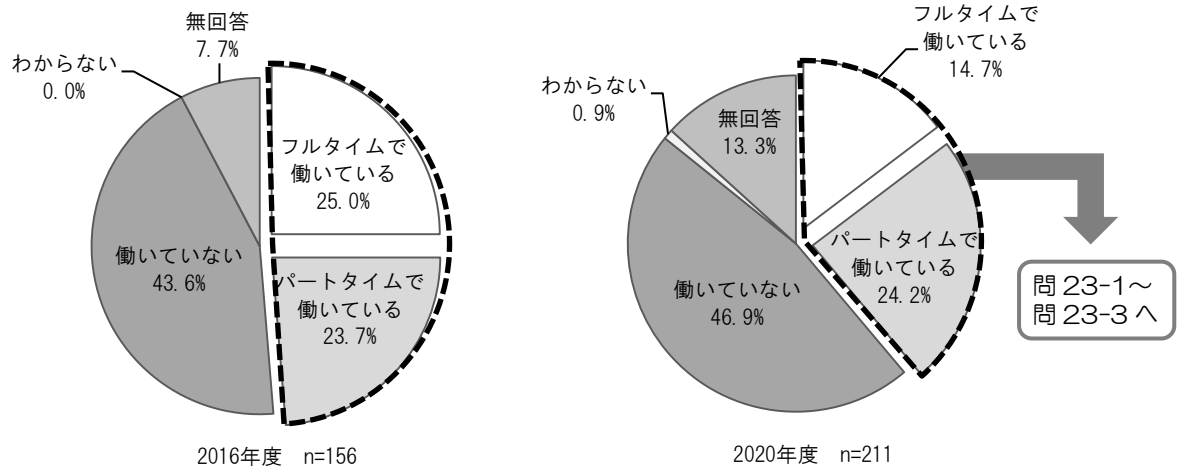
4 主な介護者の就労状況について

(1) 主な介護者の勤務形態

○主な介護者の現在の勤務形態は「フルタイムで働いている」(14.7%)、「パートタイムで働いている」(24.2%)を合わせた38.9%の方が就労しています。

○前回調査と比較すると、就労している方は9.8^{ポイント}低くなっています。

問 23 主な介護者の現在の勤務形態

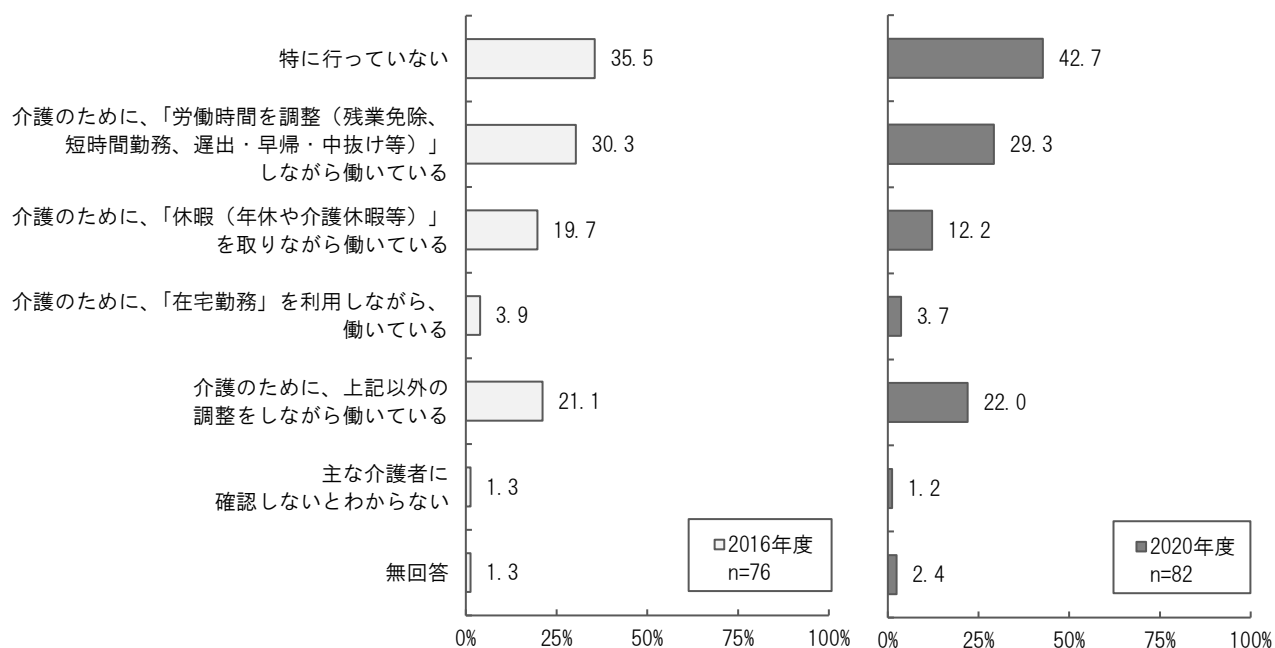


(2) 継続就労者（フルタイム・パートタイム）の就労実態と意向

○介護による働き方の調整をみると、「特に行っていない」（42.7%）が最も高く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら働いている」（29.3%）、「介護のために、『上記以外の調整』をしながら働いている」（22.0%）となっています。

○前回調査と比較すると、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が7.5^{ポイント}低くなっています。

問 23-1 働き方を調整しているか

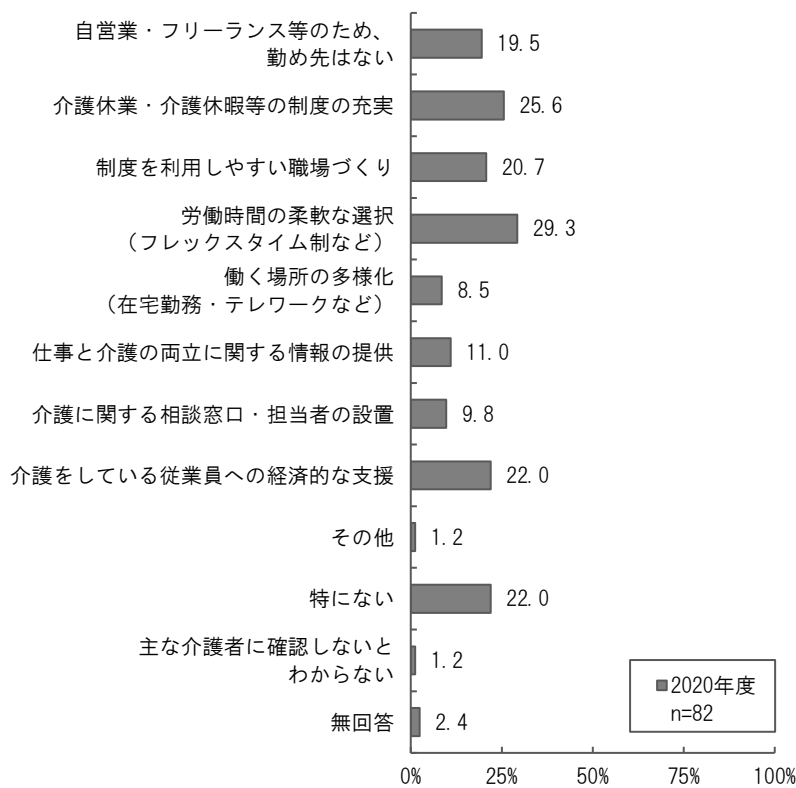


○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をみると、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（29.3%）が最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（25.6%）、「介護をしている従業員への経済的な支援」（22.0%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（20.7%）の順となっています。

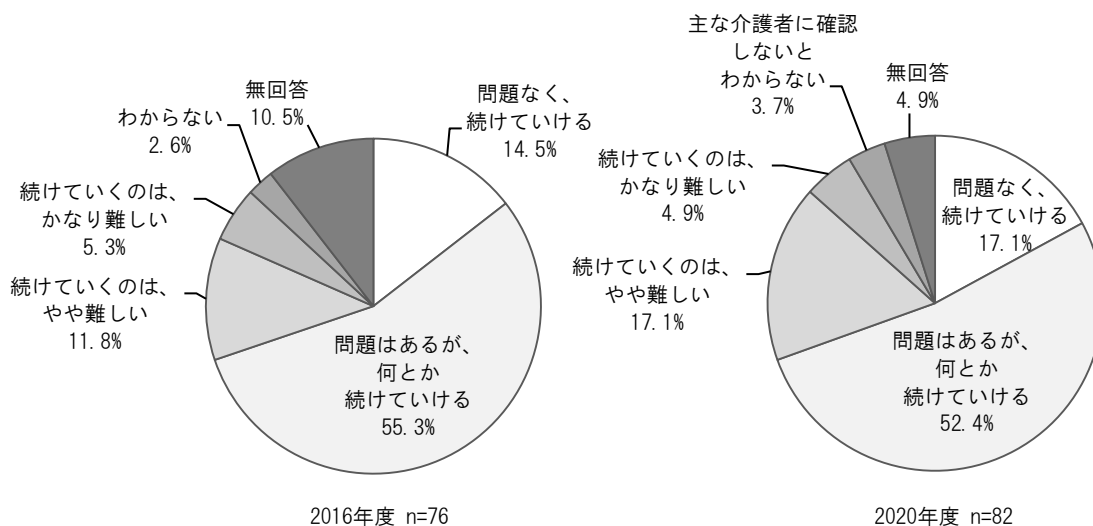
○今後の介護と仕事の両立について、「問題なく、続けていける」（17.1%）と「問題はあるが、何とか続けていける」（52.4%）を合わせた今後も継続できる方は69.5%、一方、「続けていくのは、やや難しい」（17.1%）と「続けていくのは、かなり難しい」（4.9%）を合わせた継続が困難な方は22.0%となっています。

○前回調査と比較すると、今後も継続できる方は0.3ポイント低く、継続が困難な方は4.9ポイント高くなっています。

問 23-2 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

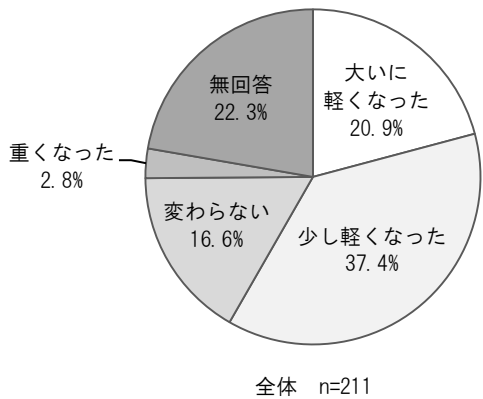


問 23-3 今後も働きながら介護を続けられるか

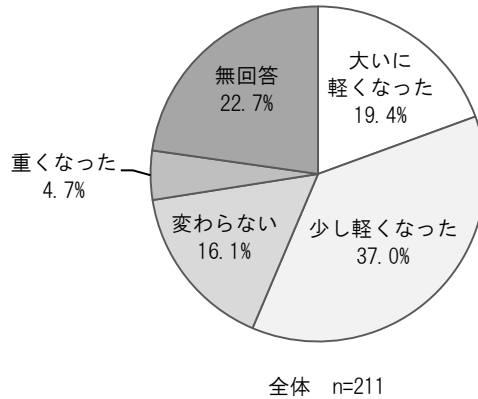


○介護サービスを利用することで、利用する前より介護の負担感が軽くなったかをみると、「大いに軽くなった」と「少し軽くなった」を合わせた割合は、身体的な負担感では58.3%、精神的な負担感では56.4%、経済的な負担感では11.8%となっています。

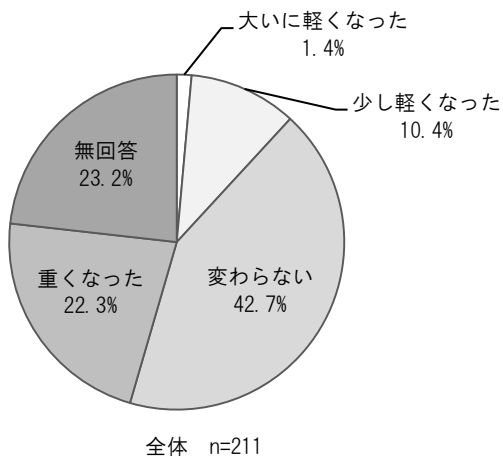
問 24. ① 身体的な負担感



問 24. ② 精神的な負担感



問 24. ③ 経済的な負担感



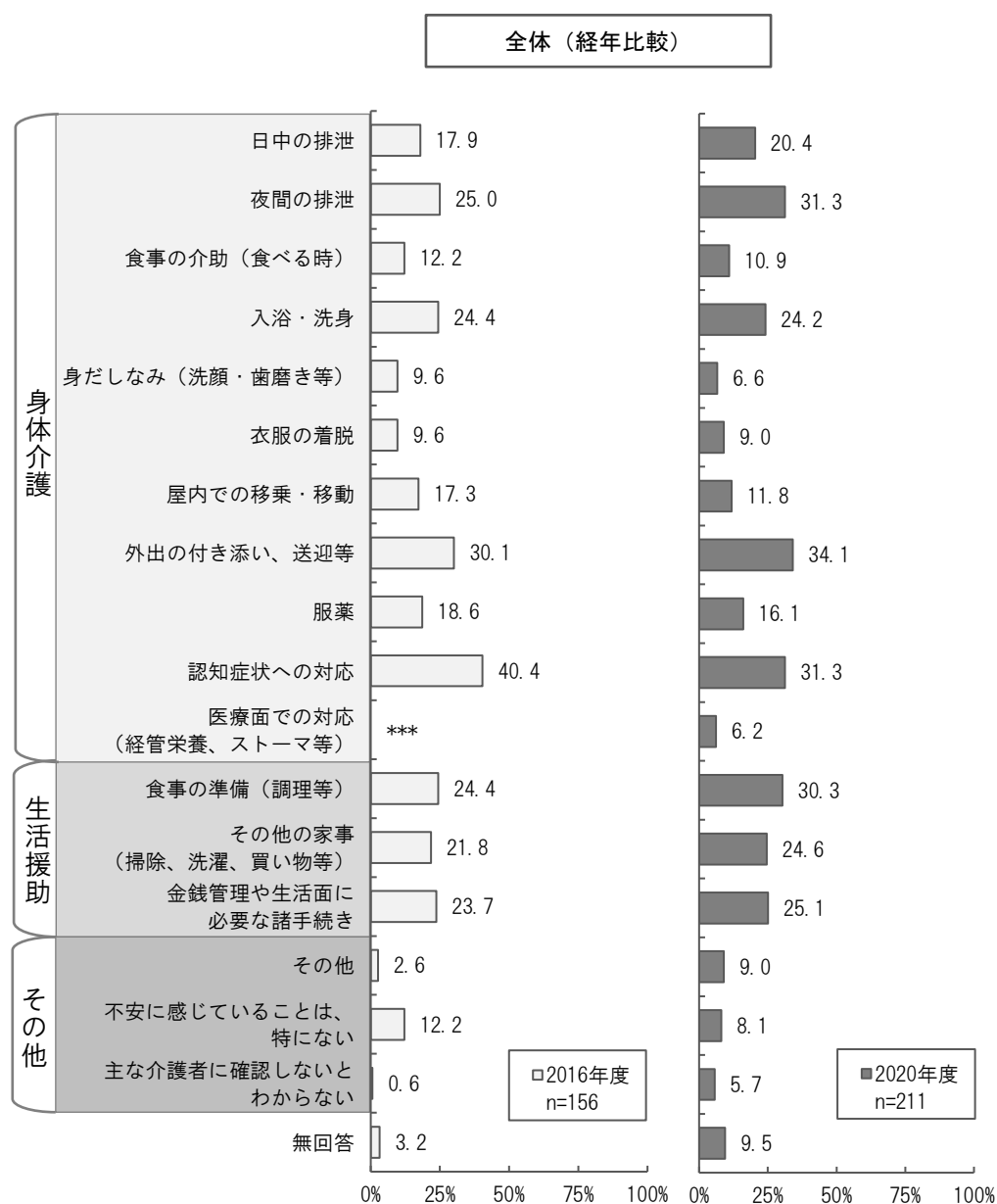
5 介護生活を続ける際の不安や困りごと

(1) 主な介護者が不安に感じる介護等の内容

○主な介護者が不安に感じる介護内容をみると、身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(34.1%)、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」(各31.3%)、「入浴・洗身」(24.2%)で割合が高くなっています。生活援助では、「食事の準備(調理等)」(30.3%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(25.1%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(24.6%)となっています。

○前回調査と比較すると、「夜間の排泄」で6.3ポイント、「食事の準備(調理等)」で5.9ポイント、「外出の付き添い、送迎等」で4.0ポイント高くなっています。

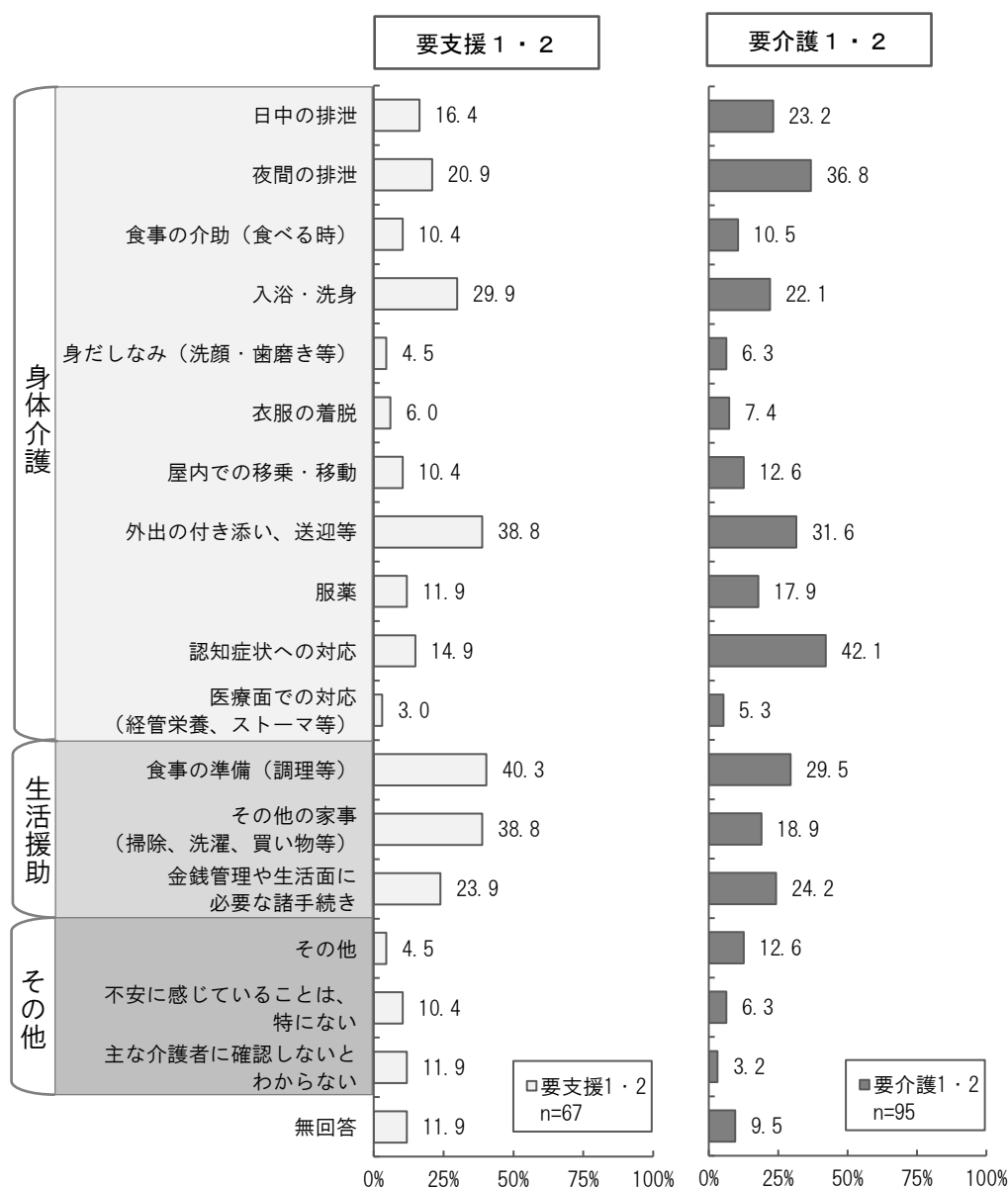
問 21 主な介護者が不安に感じる介護等



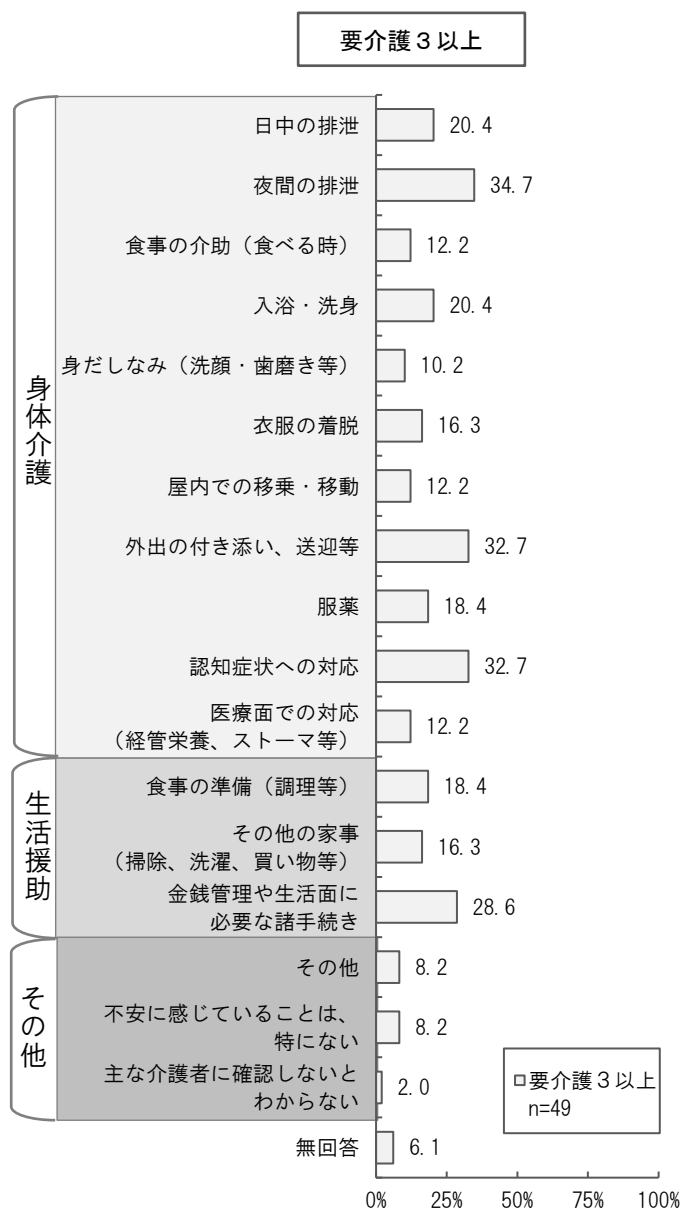
※「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」は前回調査時にない選択肢のため、数値を記載していません。

○要支援1・2の方の身体介護での不安をみると、「外出の付き添い、送迎等」(38.8%)、「入浴・洗身」(29.9%)で割合が高くなっています。生活援助では、「食事の準備(調理等)」(40.3%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(38.8%)で割合が高くなっています。

○要介護1・2の方の身体介護での不安をみると、「認知症状への対応」(42.1%)、「夜間の排泄」(36.8%)、「外出の付き添い、送迎等」(31.6%)で割合が高くなっています。生活援助では、「食事の準備(調理等)」(29.5%)で割合が高くなっています。



○要介護3以上の方の身体介護での不安をみると、「夜間の排泄」(34.7%)、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」(各32.7%)で割合が高くなっています。生活援助では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(28.6%)で割合が高くなっています。



6 介護離職の要因について

主な介護者の介護離職に関する要因を調べるために、(1) 主な介護者を取り巻く介護環境当、(2) 要介護者の様態と介護実態、(3) 介護給付サービス等の利用状況等について介護離職者と継続就労者との差を比較しました。

(1) 主な介護者を取り巻く介護環境等

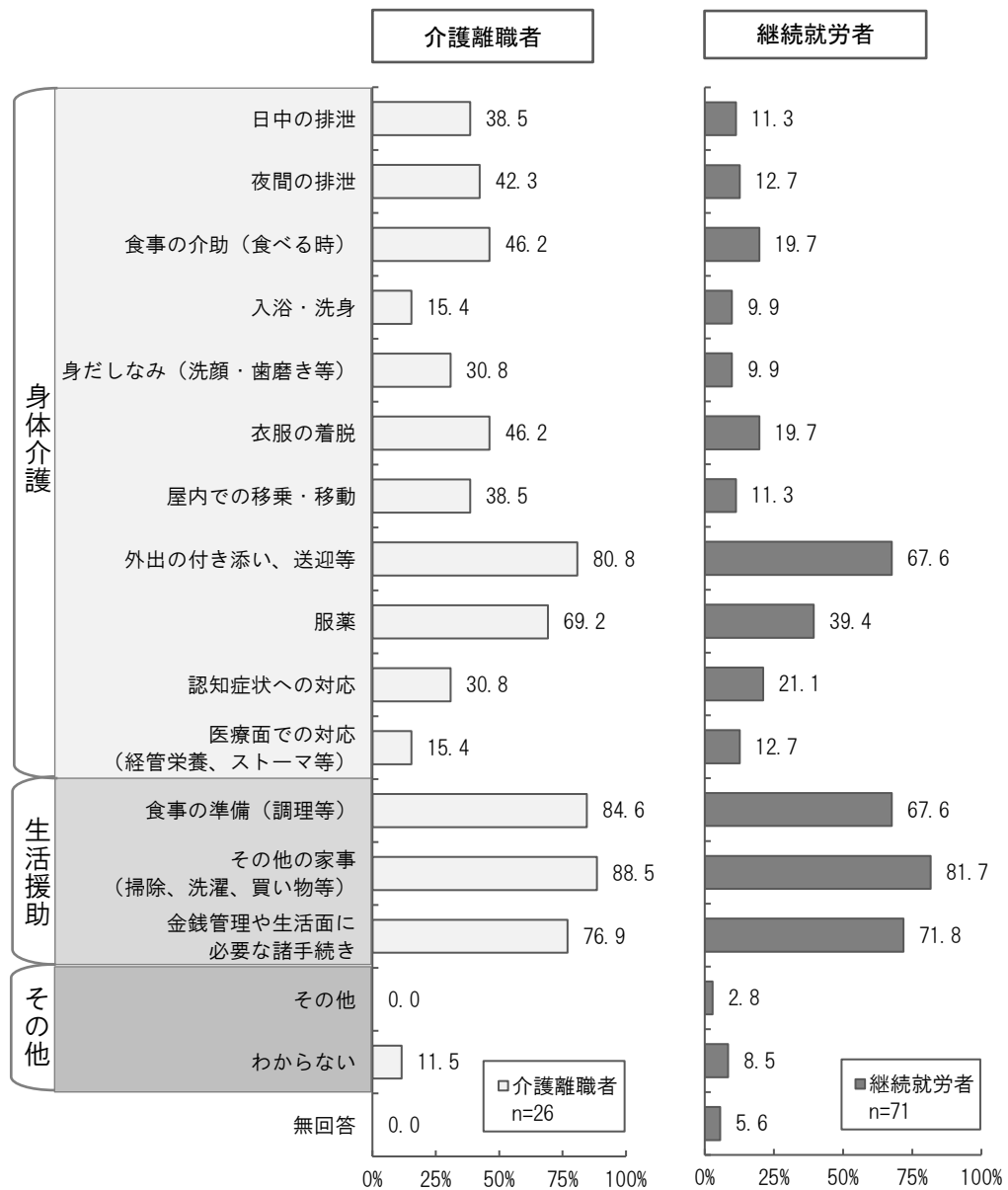
① 介護者が行っている介護内容

○介護離職者が行っている身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(80.8%)が最も高く、次いで「服薬」(69.2%)となっています。また、生活援助では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(88.5%)、「食事の準備(調理等)」(84.6%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(76.9%)となっています。

○継続就労者では「外出の付き添い、送迎等」(67.6%)が最も高く、次いで「服薬」(39.4%)となっています。また、生活援助では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(81.7%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(71.8%)、「食事の準備(調理等)」(67.6%)となっています。

○介護離職者では継続就労者に比べて全ての介護内容で割合が高く、身体介護の順位は上位4位まで同じとなっています。

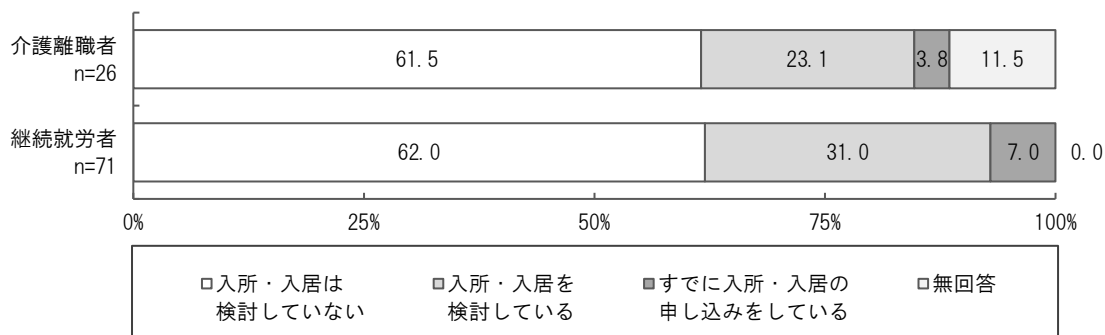
「介護離職者・継続就労者別」×「問20 主な介護者が行っている介護等」



② 施設等への入所・入居の検討

○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、介護離職者と継続就労者ともに「入所・入居は検討していない」(61.5%・62.0%)が最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(23.1%・31.0%)となっています。

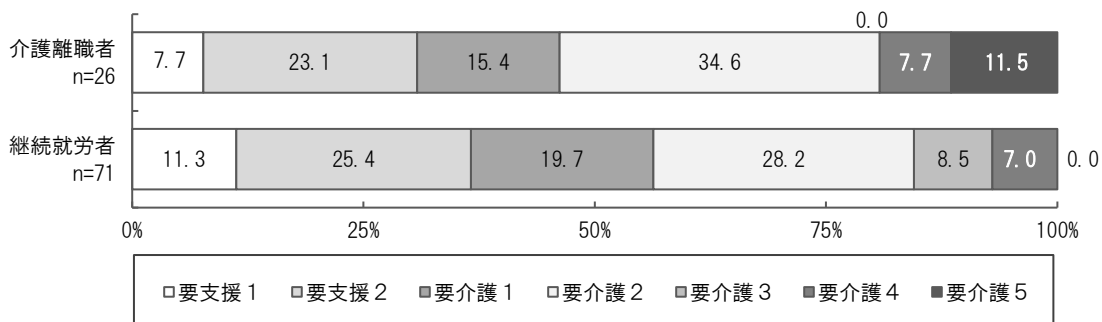
「介護離職者・継続就労者別」×「問3 施設等への入所・入居に関する検討状況」



(2) 要介護者の様態と介護実態

○要介護者の介護度をみると、介護離職者・継続就労者ともに「要介護2」(34.6%・28.2%)が最も高く、次いで「要支援2」(23.1%・25.4%)、「要介護1」(15.4%・19.7%)となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×要介護者の「介護度」



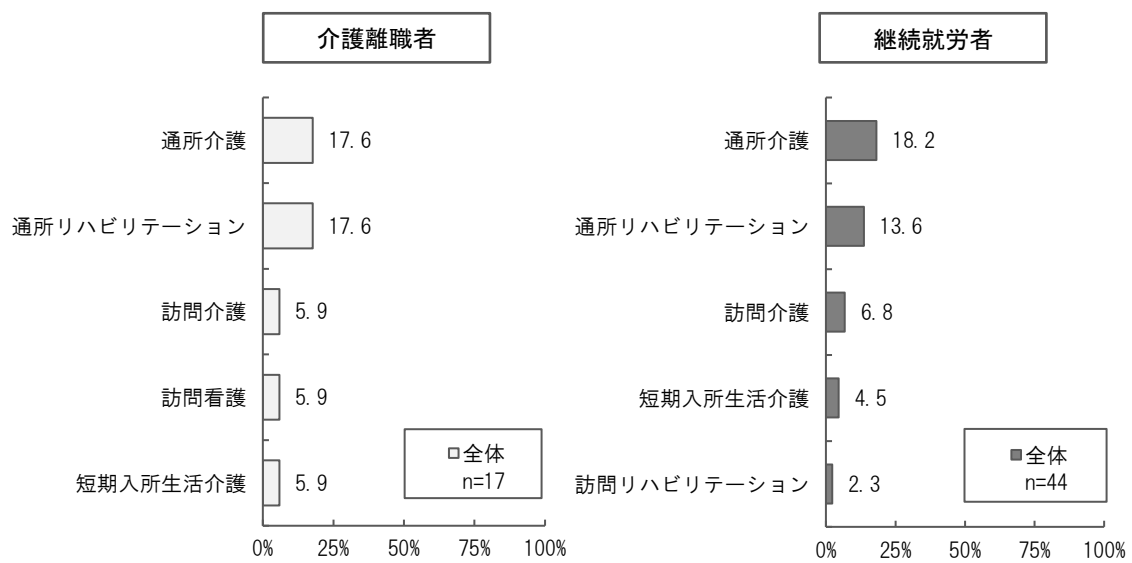
(3) 介護給付サービス等の利用状況

① 介護給付サービスの利用状況

○介護離職者の介護保険サービス利用では「通所介護」、「通所リハビリテーション」(各17.6%)、「訪問介護」、「訪問看護」、「短期入所生活介護」(各5.9%)の順となっています。

○継続就労者では「通所介護」(18.2%)、「通所リハビリテーション」(13.6%)、「訪問介護」(6.8%)、「短期入所生活介護」(4.5%)、「訪問リハビリテーション」(2.3%)の順となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「サービス利用状況(上位5位)」【再掲】



7 支援窓口と介護保険制度について

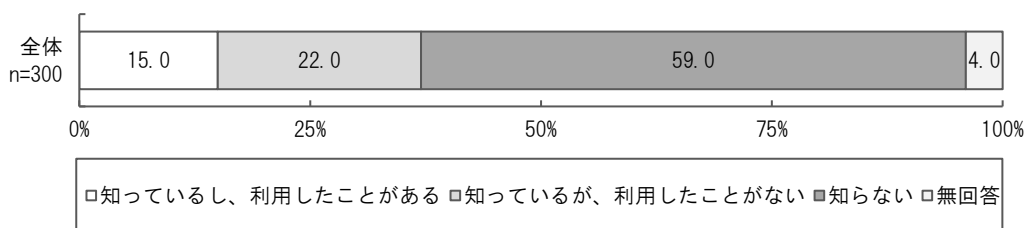
(1) 支援窓口の認知状況

○ささえあいセンターの認知状況をみると、「知っているし、利用したことがある」(15.0%)と「知っているが、利用したことがない」(22.0%)を合わせた“知っている”と回答した方は37.0%います。一方で、「知らない」と回答した方は59.0%います。

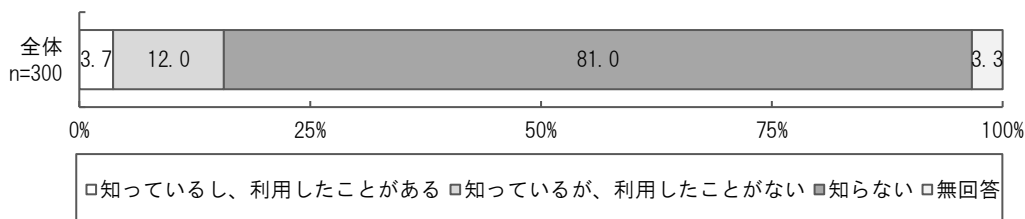
○あまさぼ（海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター）の認知状況をみると、「知っているし、利用したことがある」(3.7%)と「知っているが、利用したことがない」(12.0%)を合わせた“知っている”と回答した方は15.7%います。一方で、「知らない」と回答した方は81.0%います。

○地域包括支援センターの認知状況をみると、「知っているし、利用したことがある」(49.7%)と「知っているが、利用したことがない」(17.3%)を合わせた“知っている”と回答した方は67.0%います。一方で、「知らない」と回答した方は29.0%います。前回調査と比較すると、「知らない」は10.0%[※]高くなっています。

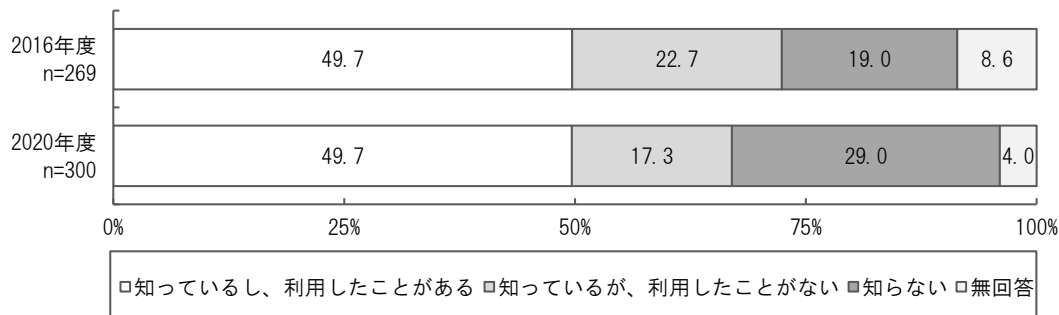
問9 本人・家族は「ささえあいセンター」を知っているか



問10 本人・家族は「あまさぼ」を知っているか



問11 本人・家族は「地域包括支援センター」を知っているか



(2) 介護保険制度への考え方

○介護保険制度への考え方をみると、「保険料は多少高くなっても、現状のサービスを受けられるようにすべき」(43.7%)が最も高く、次いで「わからない」(25.0%)、「保険料が高くなっても、充実したサービスが受けられるようにすべき」(15.0%)となっています。

○前回調査と比較すると、「保険料が高くなるのであれば、サービスの整備を進めるべきではない」は5.1ポイント低くなっています。

問 12 介護保険制度への考え方

